

平成29年第1回大田原市教育委員会定例会 会議録

開催日時		平成29年1月17日(木) 午後1時25分			
開催場所		湯津上庁舎 102会議室			
会議出席状況	教育長	植竹福二	出席		
	委員	深澤道昭	出席	川上聖子	欠席
		車田宏之	出席	小林朋子	出席
		森泉	出席		
	事務局職員	教育部長	益子正幸	生涯学習課長兼中央公民館長	渡邊小百合
		教育総務課長	大森忠夫	文化振興課長	長谷川操
		学校教育課長	月井祐二	スポーツ振興課長	相馬天子
	書記	教育総務課	遠藤久子・渡邊政典・川崎優志		
	付議事項	○ 報告 件 [報告第 号～第 号]			
		○ 協議 2 件 [協議第 1 号～第 2 号]			
	○ 議案 件 [議案第 号～第 号]				

1 開 会 午後1時25分

2 前回会議録の承認

3 議 事

日程第1 協議第 1号 大田原市外国人留学生奨学金支給条例の一部を改正する条例の制定について

日程第2 協議第 2号 大田原市学校教育施設整備基金条例の制定について

4 そ の 他 ・ 県費負担教職員退職辞令交付式及び任命採用発令式について教育委員への出席依頼について

・ 大田原市生涯学習推進計画の概要について

5 閉 会 午後2時05分

6 傍 聴 人 0名

7 会議の要旨 次のとおり

## 平成29年第1回大田原市教育委員会定例会発言要旨

平成29年1月17(火) 午後1時25分から

○教育長（植竹福二君） ただいまから平成29年第1回大田原市教育委員会定例会の会議を開きます。

○教育長（植竹福二君） 前回会議録は、書記をもって調製させましたので、順次回覧いたします。内容をご確認いただきたいと思います。

（会議録順次回覧）

○教育長（植竹福二君） 会議録の内容についてご確認いただきましたが、前回会議録につきましてご承認いただけますか。

（異議なしの声あり）

○教育長（植竹福二君） 異議はないようでありますので、前回の会議録は承認されました。  
委員会閉会后、ただいまの会議録に署名をお願いいたします。

○教育長（植竹福二君） 本日付議いたします案件は、協議2件であります。  
それでは日程に従い会議に入ります。  
日程第1 協議第1号 大田原市外国人留学生奨学金支給条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。  
詳細について、教育総務課長から説明をお願いします。

○教育総務課長（大森忠夫君） （説明を行う）

○教育長（植竹福二君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。

○委員（深澤道昭君） この奨学金は毎年どの位の方が支給されていますか。

○教育総務課長（大森忠夫君） 平成28年度で23名の方が対象となっております。

○委員（深澤道昭君） 対象人数の近年の傾向はどうですか。

○教育総務課長（大森忠夫君） 近年の傾向としましては、平成20年度から制度が始まりました、平成24年度までは一桁の申し込みでしたが、平成25年度 17名 平成26年度 20名 平成27年度 24名と少しずつ増えてきている傾向となっております。予算上は34名程度まで対応できる分を確保しております。

○委員（森 泉 君） この奨学金制度は給付型ですか貸与型ですか。

○教育総務課長（大森忠夫君）

給付型の制度であります。

○委員（森 泉 君）

あくまでも福祉大学の学生だけということでしょうか。また6年というのはどのような基準でしょうか。

○教育総務課長（大森忠夫君）

市内の大学に通うことが前提ですので、福祉大学の学生が対象となります。また、薬学部が設置されていることから6年生までを奨学金の対象としております。

○委員（森 泉 君）

どのくらいの留学生がおり、そのうち奨学金を申請しているかわかるのでしょうか。

○教育総務課長（大森忠夫君）

大学から推薦のあった方を採用してまいりますので、申し訳ございませんが、留学生の総数までは把握しておりません。

【その他で報告】留学生57名が在席しており、補助対象としている大田原市に住所のある方は現在27名おり、そのうち23名が奨学金を支給されております。

○教育長（植竹福二君）

質疑はないようでありますので、質疑を終わります。お諮りいたします。

協議第1号 大田原市外国人留学生奨学金支給条例の一部を改正する条例の制定についてにつきましては、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○教育長（植竹福二君）

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。

次に、日程第2 協議第2号 大田原市学校教育施設整備基金条例の制定についてを議題といたします。

詳細について、教育総務課長から説明をお願いします。

○教育総務課長（大森忠夫君）

（説明を行う）

○教育長（植竹福二君）

説明が終わりましたので、質疑を行います。

○委員（森 泉 君）

基金は補助金相当額ということで良いでしょうか

○教育総務課長（大森忠夫君）

旧川西中学校の全体面積の3,835㎡のうち459.9㎡が対象となります。この有償で貸出す部分の補助金相当額が約28,300千円となり、経年による残存価額を計算しますと補助金相当額は約3,700千円となることから、これを10年間の積立目標としたところであります。

○委員（森 泉 君）

あくまで廃校となった校舎すべてではなく、有償で貸出す部分のみの基金ということでしょうか。

- 教育総務課長（大森忠夫君） 委員ご指摘のとおりであり、無償部分は今回の基金対処外となりまして、有料で貸出す部分を基金の対象としております。
- 委員（深澤道昭君） 公募の結果1社だけということだったのでしょうか。
- 教育総務課長（大森忠夫君） 資料のとおり、市は、旧川西中学校、旧片田小学校、旧須佐木小学校の廃校利用について公募しまして、結果旧川西中学校1校の応募があったということでもあります。
- 委員（深澤道昭君） 旧片田小、旧須佐木小は応募がなかったということですが、旧川西中が24年経過しているということで施設の老朽化はどの程度なのでしょうか。
- 教育総務課長（大森忠夫君） 施設はきれいに管理されており、それほど古くなったという印象は見られておりません。
- 委員（森 泉 君） すでに廃校となっている旧蜂巢小では、このようなことはないのでしょうか。
- 教育総務課長（大森忠夫君） 旧蜂巢小の場合は、福祉施設ということなので、無償で貸出しております。今回の場合も福祉目的の部分については、無償で貸出す予定であります。詳細の契約については、政策推進課で取りまとめておりまして、有償部分は月額82,500円、年間990千円で契約という予定だそうです。
- 委員（森 泉 君） いちごの栽培について、完全閉鎖型の事業であり、採算ベースに乗るまでの技術や費用が嵩むと予想されますが、今回農務サイドとの協議などはしているのでしょうか。
- 教育総務課長（大森忠夫君） 現在のところ、どのような方法で栽培するかなど具体的な事業計画までは情報がありません。政策推進課が窓口となり進めているところまでしか把握しておりません。
- 委員（森 泉 君） 教育委員会は建物の管理だけということでしょうか。
- 教育総務課長（大森忠夫君） 建物（財産）の管理については財政課が担当しております。教育委員会はあくまで基金の運用者ということになります。
- 教育長（植竹福二君） 契約期間中、事業がとん挫した場合はどのように対応するのでしょうか。
- 教育総務課長（大森忠夫君） どのような組織で運営するのかわかりませんが、10年間の契約期間で貸出すということですので、契約書には、そういった場合の対応についても違約金など言及しているものと思われまます。

○教育長（植竹福二君） 質疑はないようでありますので、質疑を終わります。  
お諮りいたします。  
協議第2号 大田原市学校教育施設整備基金条例の制定  
についてにつきましては、原案のとおり承認することにご  
異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○教育長（植竹福二君） ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認  
されました。  
以上をもちまして、本日予定されました案件はすべて議  
了いたしました。  
なお、その他で何かございますか。

○教育総務課長（大森忠夫君） 県費負担教職員退職辞令交付式及び任命採用発令式につい  
て教育委員への出席依頼について

○生涯学習課長（渡邊小百合君） 大田原市生涯学習推進計画の概要について

○教育長（植竹福二君） 事務局で何かありますか。

○教育長（植竹福二君） ないようでありますので、以上をもちまして平成29年  
第1回大田原市教育委員会定例会の会議を閉会いたしま  
す。ご苦労様でした。

この会議録は、平成29年1月31日に調製されたものであるが、その内容に相  
違いないことを認め、ここに署名する。

平成29年2月16日

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

調製者